

平成 27 年 7 月 2 日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

NVC、Web サーバ脆弱性診断サービス WVDS 開始のお知らせ

～Web サイトの健康診断を簡単にすばやく実施することでセキュリティ耐性を可視化～

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表取締役：渡部進、以下略称：NVC、東証マザーズ：3394）は、Web サーバ脆弱性診断サービス WVDS（Web Server Vulnerability Diagnostic Service）を開始します。

1. 背景

昨今、Web の脆弱性を利用した悪意ある攻撃が急激に増えています。セキュリティ意識も高まりをうけ Web サイトの設計や管理、安全性に至るまで対策を施しているユーザも多くみられます。しかし、攻撃する側のスキルは益々巧妙になり、安全性を担保することが管理者の重要な課題になっています。かたや、Web サイト管理者としては、対策を実施するにしても、現状の Web サーバはどの程度耐性があるか、また、既存のセキュリティ対策でどこまでのカバーできているかを簡単に判断する仕組みが不足しています。またこうした背景もあり、様々な Web 脆弱性対策サービスが提供されていますが、時間が掛かったり、金額が高いために躊躇する場合も少なくないようです。

2. 製品

今回提供する Web サーバ脆弱性診断サービス WVDS（Web Server Vulnerability Diagnostic Service）は、「Web サイトの健康診断」を実施するサービスです。WVDS は、Web サーバの耐性を疑似攻撃の形で診断し、診断結果を 5 営業日後に速報という形で通知し、後日詳細な報告書を提示します。

これにより、セキュリティに対する耐性がいち早く明確化・可視化され、具体的な対応策をすばやく検討することが可能となります。

WVDS の診断項目は、WASC（※1）脆弱性アイテムと OWASP（※2）セキュリティリスク Top 10 アイテムを指定の WEB サーバに対してスキャンを実施します。

アドバンスサービスは、これに加え、お客様環境（WAF/ファイアウォールの内側や DMZ 等）内にスキャナを設置し、脆弱性診断を 2 回実施して、実施前後の差分や改善度合いを確認することができるサービスです。このアドバンスサービスにより、外部からアクセスできない検証用サーバ等のスキャンも可能になりますので、Web サイトを公開する前に脆弱性対策が実施できます。

スキャンエンジンは、本年 6 月に発売を開始した NSFOCUS 社の Web サイト脆弱性診断ツール WVSS を使用し、本年度新設の「ユニファイド・セキュリティ・サービス部門」が運用並びに実施するサービスです。

詳しくは、当該ソリューションサイトをご参照ください。なお、本サービスは、お客様サイトでの導入が既に決定しております。

3. 発売時期および販売ターゲット

販売開始時期

平成 27 年 7 月。初年度の販売額は 0.5 億円を目標としています。

販売ターゲット

大規模な Web サイトを公開している事業者、企業、官庁など。

提供価格

スタンダード 外部からの接続 2 回 20 万円（消費税別）

アドバンス 外部からの接続 2 回および内部での接続 2 回 30 万円（消費税別）

※1 WASC (Web application Security consortium)

オープンな業界団体の一つ

Web アプリケーションのセキュリティ脆弱性の原因によって、Web ハッキングされたインシデントのデータベースを作成し公表している。

※2 OWASP (Open Web Application Security Project) は、Web アプリケーションのセキュリティ向上を目的とするオープンなグローバルコミュニティ

OWASP Top 10 は、Web アプリケーションセキュリティの 10 の脆弱性をリスク順に解説するレポート、自社システムとの関連性を判断するための情報や攻撃シナリオ、防御策、参考リソースへのリンクなどが 1 ページで簡潔にまとめられている

以 上